

# 学校教育の補完

公教育になじめなかった子どもたちや

公教育では物足りないと考える子どもたち

以前は公教育を補完する民間の活動を「新しき公共」と表現した

近年政府は、官民連携の教育施策を「協働」とか「共創」と表現しているが、具体的なイメージがわいてこない

子どもたちの様々なニーズに対して大人たちの対応は不足がちだ

子どもたちの自立をはかるためにNPOができる支援とは…

# 公教育が担えない教育の課題

1. 不登校児童30万人 自立する力、生きる力をつけるには？
2. 突出した能力をもつ子供への教育 天才の一部は障害者
3. オタクが世界を救う
4. 偉大なる凡人が世界を支える
5. 自分の価値の創造
6. 学校を核にした地域との協働
7. 第一次産業から第三次産業へのシフトへの対応

市民と行政：  
対等＋相互理解

新しい公共 '05

学校と地域の  
連携・協働 '18

地域共生社会 '16



## 協働・共創の視点

共創の視点と企業のCSR（社会的責任）や経済的な利益と社会的な価値を両立するCSV（共通価値創造）が  
あいまって、あらゆる行政分野で民間の持てるアイデアと  
力を発揮し、質の高い公共サービスの提供や横浜らしい  
地域活性化につなげていきます。

CSR : Corporate Social Responsibility  
CSV : Creating Shared Value

社会的ニーズと企業の利潤の調和を共有

市民の利他性  
や企業の社会  
貢献に期待！

行政と団体  
との協働

複雑化・多様化する社会課題を行政だけで解決してい  
くことは困難であり、これまでも本市では、自治会町内  
会や大学、NPOなど様々な団体との協働により、魅力  
ある地域づくりを進めてきました。

こうした協働の取組に加え、企業をはじめとした様々  
な民間事業者と行政の対話により連携を進め、相互の知  
恵とノウハウを結集して新たな価値を創造する、行政と  
民間で「公」を共に創っていく、という「共創」の考え方  
が重要です。

行政と民間で  
「公」を創る

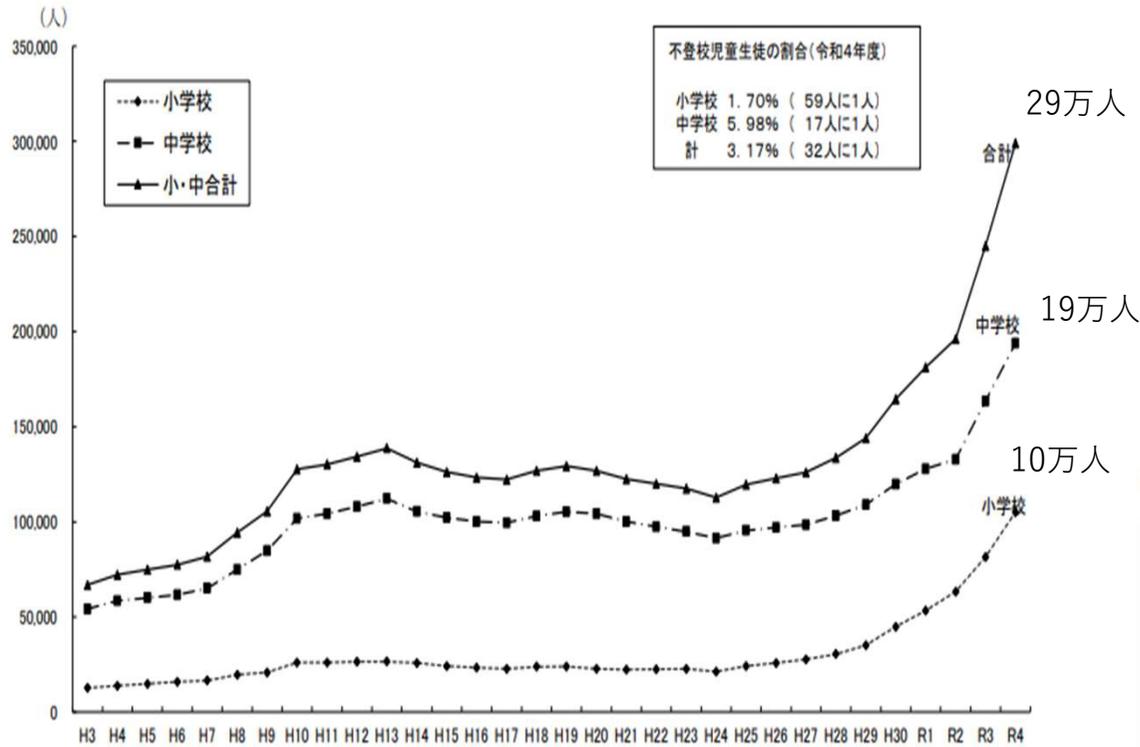
横浜市中期計画2022-2025から

1. 生きる力とは

# 公教育が担えない教育の課題

1. **不登校児童30万人** 自立する力、生きる力をつけるには？
2. 突出した能力をもつ子供への教育 天才の一部は障害者
3. オタクが世界を救う
4. 偉大なる凡人が世界を支える
5. 自分の価値の創造
6. 学校を核にした地域との協働
7. 第一次産業から第三次産業へのシフトへの対応

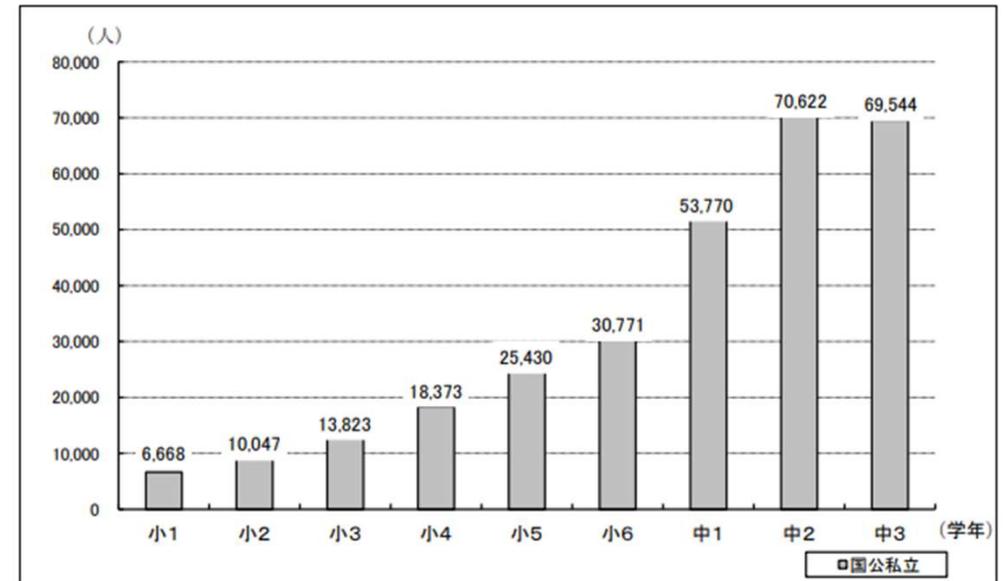
<参考2> 不登校児童生徒数の推移のグラフ



# 不登校児童30万人(令和4年)

[令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について \(mext.go.jp\)](https://www.mext.go.jp)

<参考4> 学年別不登校児童生徒数のグラフ



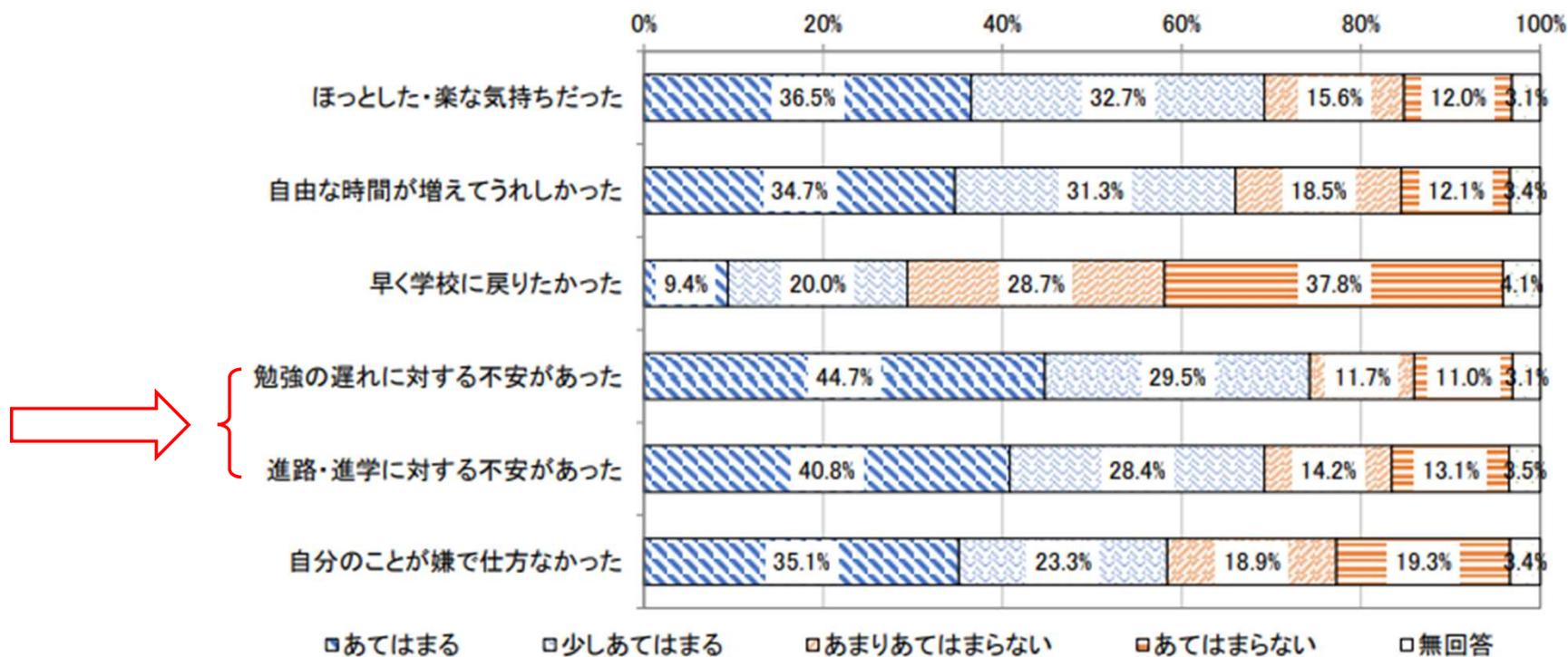
1. 生きる力とは

## (2)中学校

学校を休んでいることの安心や不安について、「あてはまる」と「少しあてはまる」を合わせた割合をみると、「勉強の遅れに対する不安があった（74%）」、「ほっとした・楽な気持ちだった（69%）」、「進路・進学に対する不安があった（69%）」が約7割で高い。

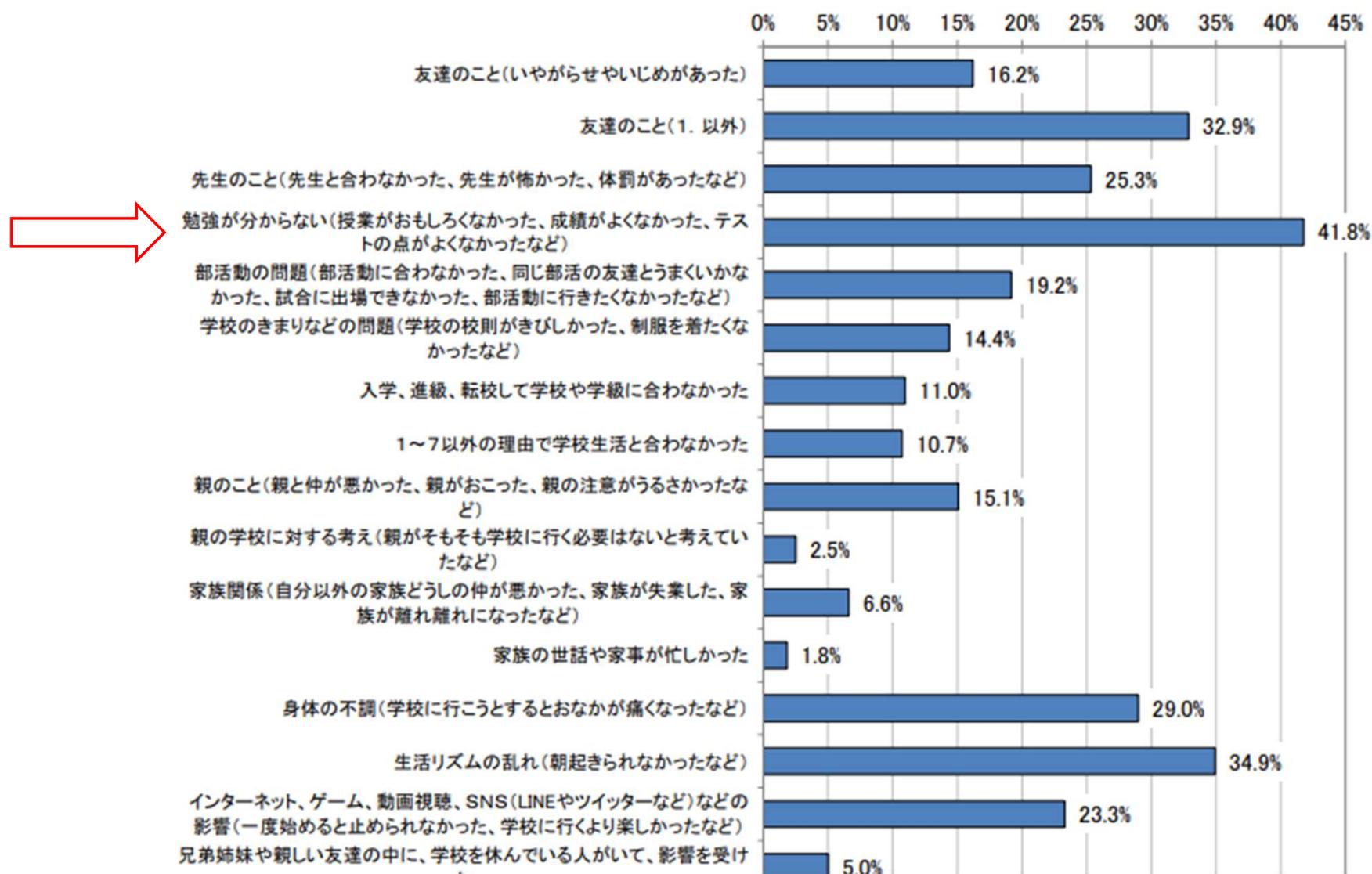
図表 2-39 学校を休んでいることの安心や不安について（中学校 n=1,303）

資料2 【全体】不登校児童生徒の実態調査結果 (mext.go.jp)



1. 生きる力とは

図表 2-63 最初のきっかけとは別の学校に行きづらくなる理由（中学校 n=438）



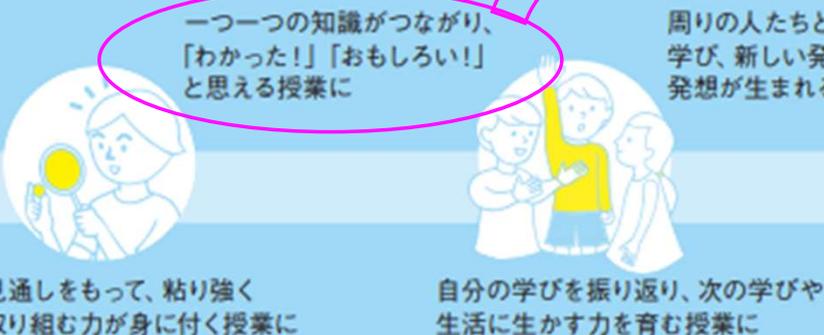
「生きる力」を育むために

# 子供たちの学びはどう進化するの？

中学校学習指導要領

主体的・対話的で深い学び (アクティブ・ラーニング) の視点から

「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善します。



カリキュラム・マネジメントを確立して教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図ります。



大人の義務 (学校+NPO)

学んだことを人生や社会に生かそうとする

学びに向かう力、人間性など

遊ばせているだけではいけないよ

実際の社会や生活で生きて働く  
知識及び技能

未知の状況にも対応できる  
思考力、判断力、表現力など

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、  
**三つの力をバランスよく育みます。**

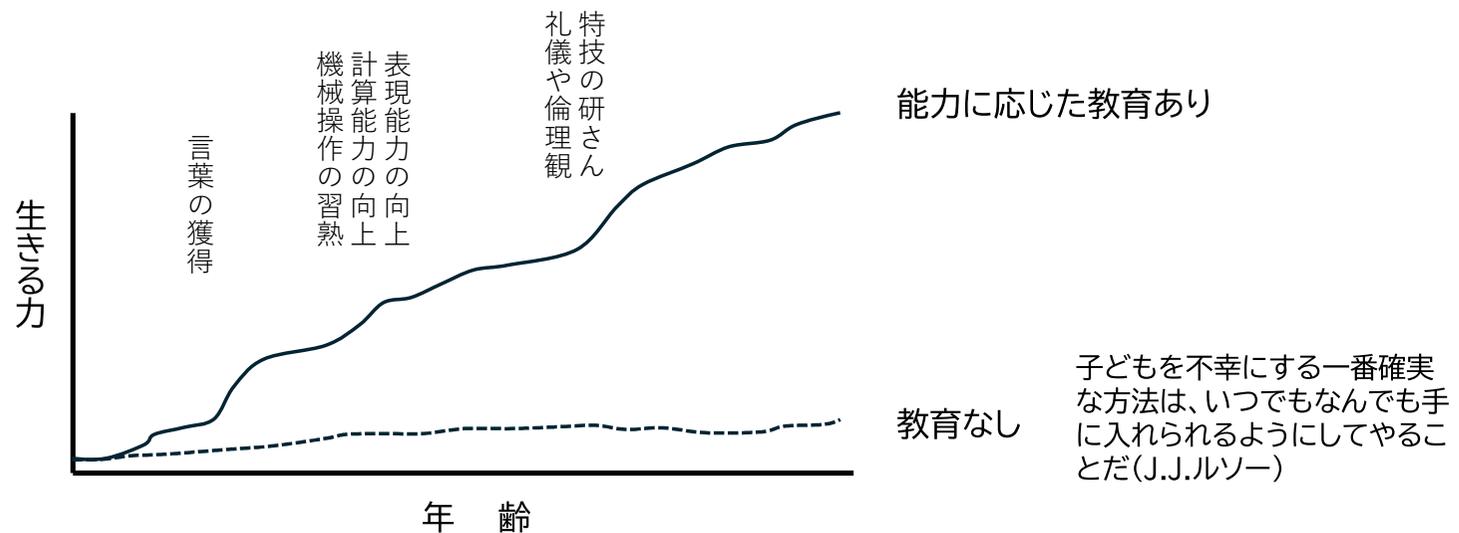
1. 生きる力とは

# 日本国憲法

## 第二十六条

すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。  
**子どもの権利**

② すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。  
**大人の義務**



## 参考 保育所保育指針

保育所は、**養護及び教育**を一体的に行うことを特性としている。

保育における「**養護**」とは、子どもの**生命の保持及び情緒の安定**を図るために保育士等が行う援助や関わりであり、「**教育**」とは、子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための**発達の援助**である。

子どもが自発的・意欲的に関わられるような**環境を構成**し、乳幼児期にふさわしい体験が得られるように、**生活や遊びを通して**総合的に保育すること。そのために指導計画を作成しなければならない。

幼児教育を行う施設として育みたい資質・能力

(ア) 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする「**知識及び技能の基礎**」

(イ) 気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「**思考力、判断力、表現力等の基礎**」

(ウ) 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「**学びに向かう力、人間性等**」

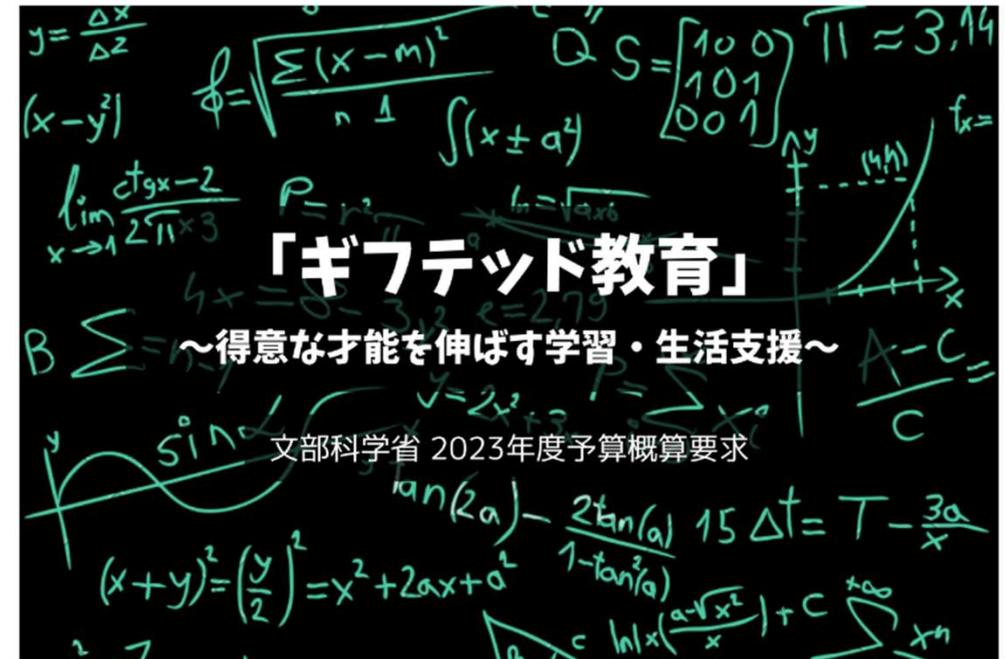
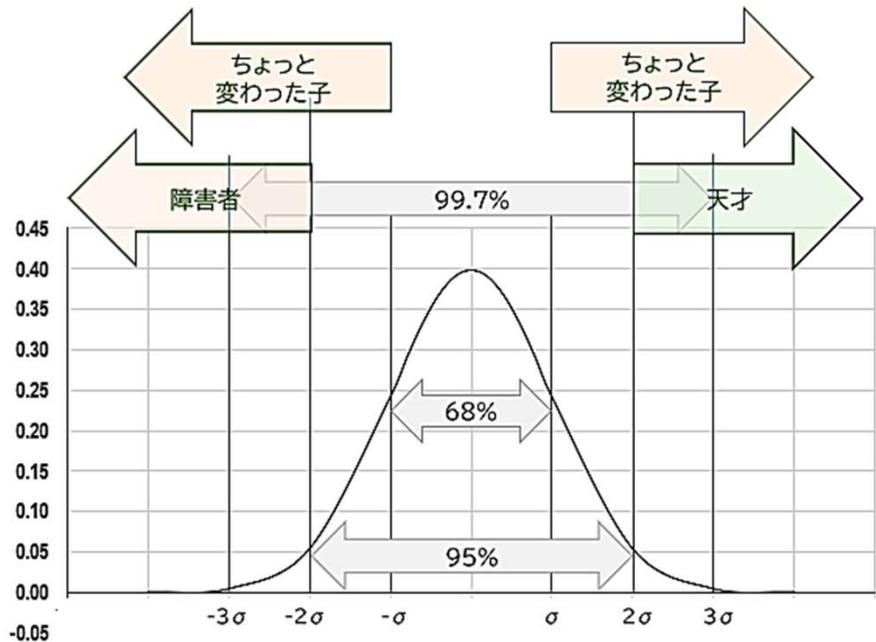
1. 生きる力とは

## 公教育が担えない教育の課題

1. 不登校児童30万人 自立する力、生きる力をつけるには？
- 2. 突出した能力をもつ子供への教育 天才の一部は障害者**
3. オタクが世界を救う
4. 偉大なる凡人が世界を支える
5. 自分の価値の創造
6. 学校を核にした地域との協働
7. 第一次産業から第三次産業へのシフトへの対応

# 突出した能力をもつ子どもへの教育

子どもの才能を伸ばす「ギフテッド」支援を2023年度開始予定 - 文部科学省



文部科学省は来年度の2023年度の予算概算要求において、**記憶力**や**言語能力**、**数学**などの特定分野で突出した才能を持つ児童生徒「**ギフテッド**」について、学校での学習支援やなじめずに孤立する状況を支援するために事業を開始する予定です。

※文部科学省は、ギフテッドという言葉を使わず「特定分野に特異な才能のある児童生徒」と表現することにしています。

## 2. 突出した能力をもつ子どもへの教育

# 能力の分布

例えば知能、IQ70以下は知的障害者として支援の対象になる。

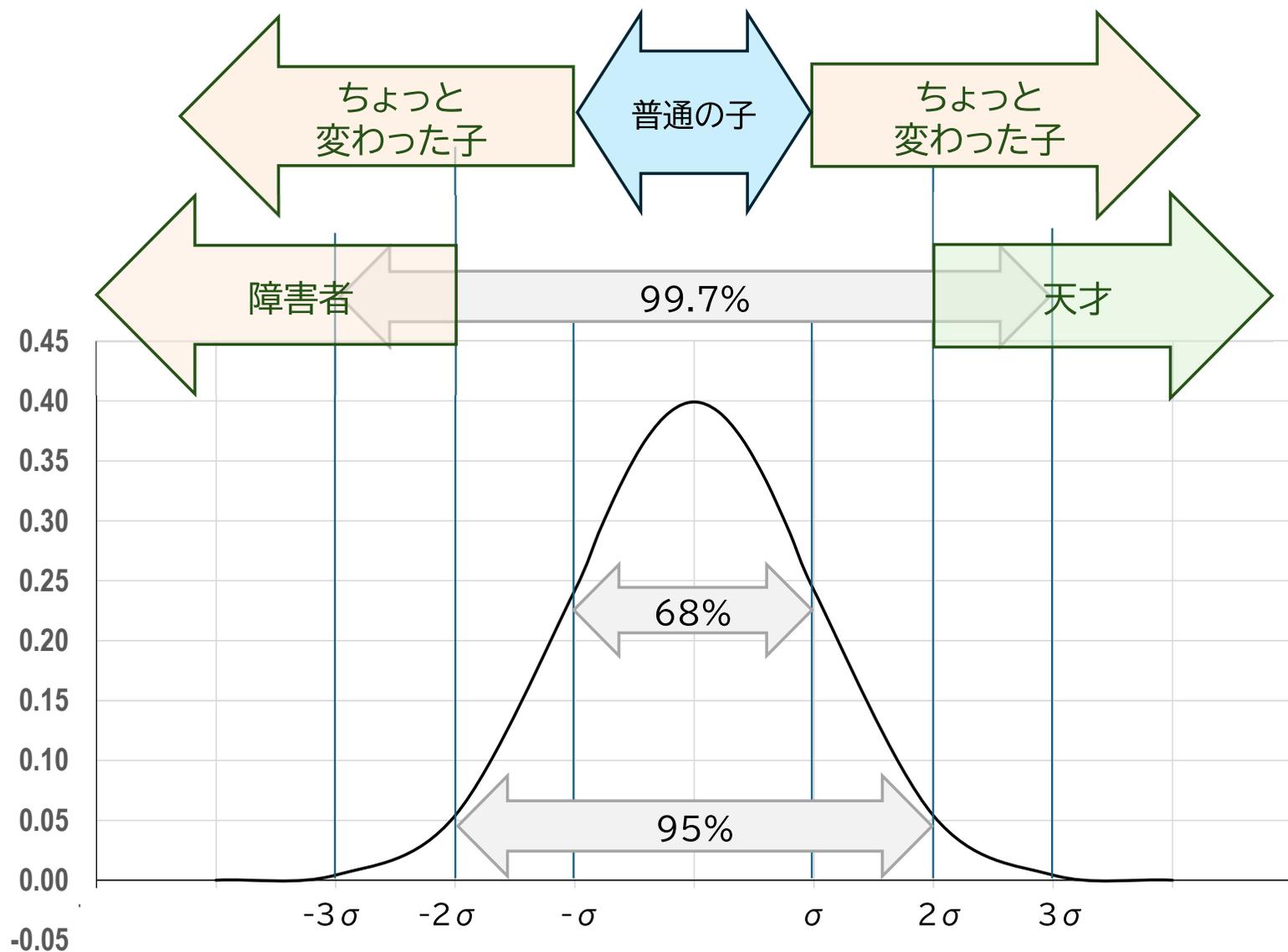
IQ130以上で特に優れた能力がある人は学問をリードする。

運動能力の優れた人、将棋や囲碁の強い人、絵画や音楽の感性の際立っている人、天才と呼ばれる。

行動や性格がちょっと変わっている人もいる。

普通の子の中にも、記憶力や感性や特定の勉強ができる子がいる。

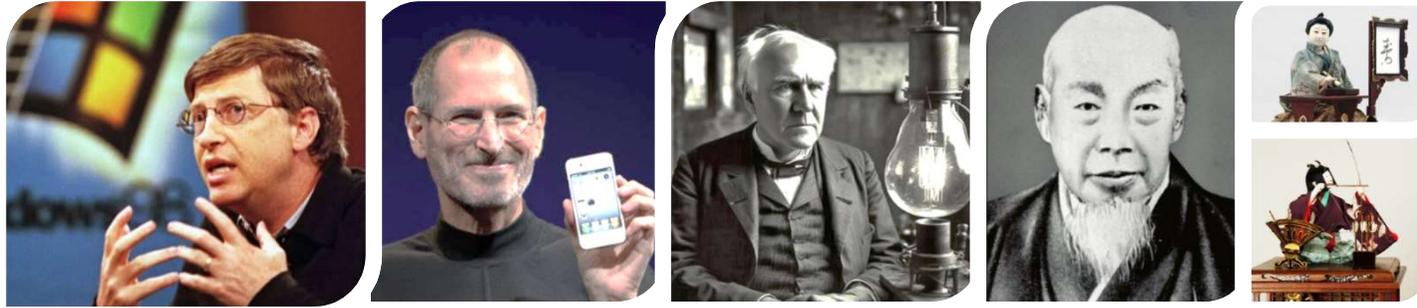
子どもたちがもって生まれた資質を伸ばすことが大人の義務だ。



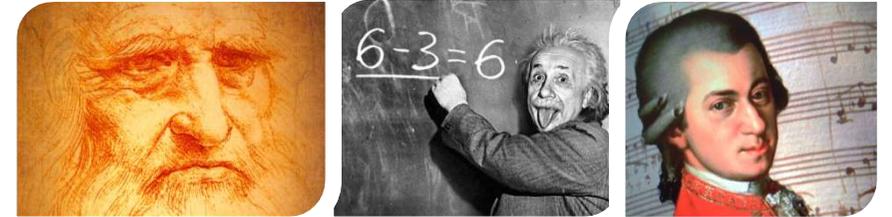
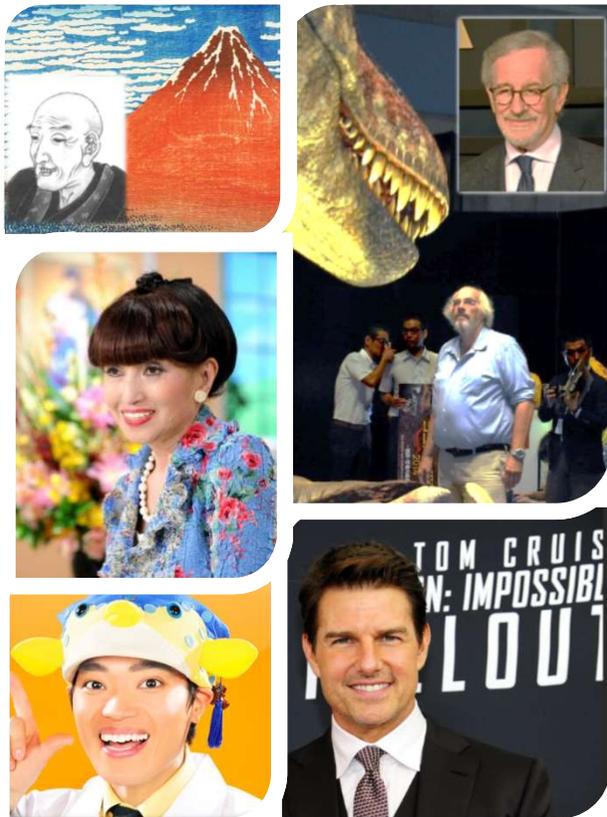
## 2. 突出した能力をもつ子どもへの教育

# 公教育が担えない教育の課題

1. 不登校児童30万人 自立する力、生きる力をつけるには？
2. 突出した能力をもつ子供への教育 天才の一部は障害者
- 3. オタクが世界を救う**
- 4. 偉大なる凡人が世界を支える**
5. 自分の価値の創造
6. 学校を核にした地域との協働
7. 第一次産業から第三次産業へのシフトへの対応



# オタクが世界を救う



### 3. オタクが世界を救う

# 働きアリの2:6:2の法則

世界を支える偉大な凡人たち

会社や社会の中で、よく働く人は2割、普通に働く人は6割、あまり働かない人は2割という法則があるそうだ。

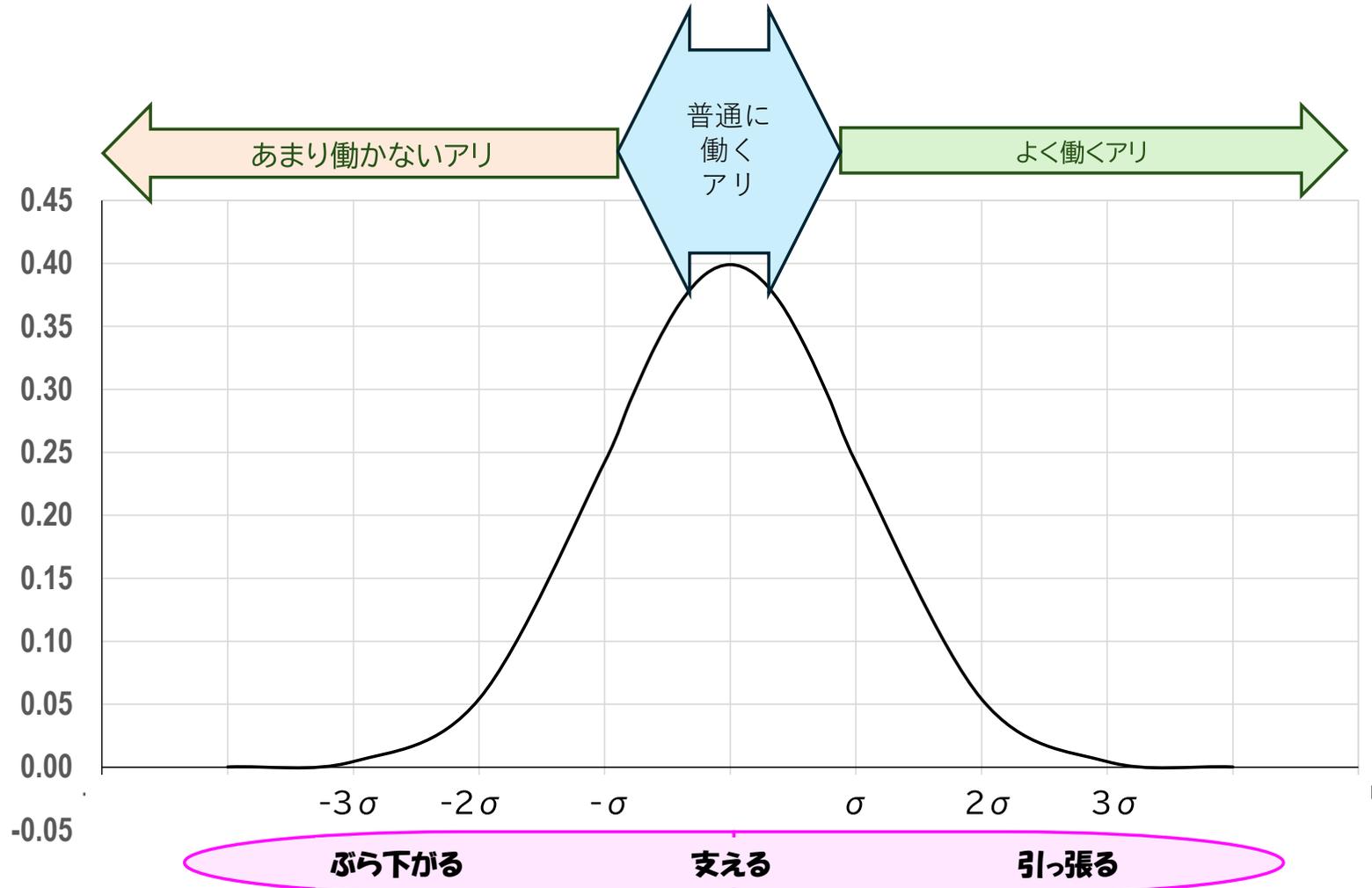
別の言い方で、引っ張る人、支える人、ぶら下がる人、などといわれることもある。

よく働く人だけを集めても、そのうち2:6:2になるそうだ。

特異な能力で世界を救うのが2割のオタクだとすると、世界を支えるのは6割の凡人。

将来偉大な凡人たちになる子どもたちも、特徴的な能力を持っているはず。それを探してあげて自己肯定感を高めてあげるのが大人の義務。

新渡戸稲造は教育の目的を、「自分より優れた人物を育てること」とした。



4. 偉大なる凡人が世界を支える



## 知之者不如好之者 好之者不如樂之者

これを知る者は  
これを好む者にしかず  
これを好む者は  
これを楽しむ者にしかず



- 意味：勉強をする者は勉強を好む者にかなわない 勉強を好む者は勉強を楽しむ者にかなわない
- 子どもたちに将来どう過ごしたいかを聞くと、「**楽しく過ごせればいいかな**」という返事が返ってくることもある。
- 今遊んでいるだけで将来楽しく過ごせるというわけではない。
- 「生きる力」とか「自立」とは、将来稼ぐことができる技術や知識やふるまい方を、自分の中に蓄えるということだ。自分への投資とか、好きなことに集中するとか、資格を目指すなどと表現されることもある。そして**生きる力の習得は「step by step」**。基礎からの積み重ねが必要だ。
- 将来何が役に立つかは子どものおときはわからない。だから、大人が提案する「表現力」とか「技能」とか「学びに向かう力」とかを試して、自分に合うものを伸ばしたらいい。
- 特異な才能を伸ばせると世界を引っ張る人になる。人並みにできると世の中を支える人になる。
- だから、大人は子どもに合わせて**楽しく教える役割**を負っているということだな。

### 4. 偉大なる凡人が世界を支える

# 公教育が担えない教育の課題

1. 不登校児童30万人 自立する力、生きる力をつけるには？
2. 突出した能力をもつ子供への教育 天才の一部は障害者
3. オタクが世界を救う
4. 偉大なる凡人が世界を支える
- 5. 自分の価値の創造**
6. 学校を核にした地域との協働
7. 第一次産業から第三次産業へのシフトへの対応

## 自分の価値を知ろう, 高めよう, 創り出そう!

こども：価値を創るってどういうこと？

おとな：「玉磨かざれば光なし」っていうだろう。君たちはいろいろな優れた能力をもっているんだ。だけどそれが何だか誰も知らない。自分で探して自分で磨けてこと。

こども：そんなの無理だよ。

おとな：学校の勉強は生きるために役立ついろいろな分野のカタログだ。その中から自分に合っていそうなものを選んでごらん。国語でも算数でも、体育や音楽でも。

こども：わからないことを一人で始めるのは大変だ。

おとな：最初は誰かに教わらなくちゃわからないよね。わからないことを始めるのは楽しいわけがない。だけど、少し我慢して教わってみて。15分か30分くらいでいいから。わかってくると先に進みたくなるから。わからなかったら別のことをすればいい。

こども：ふ～ん

おとな：少しずつ自分を磨いてゆこう。そのうち、宝石になるから。

# 価値の創造

- 創造的な仕事の多くは、「まね」から生まれるんだ。誰かの作ったものを少し改良しようとか、あれとこれを組み合わせると新しいものができちゃったとか。大学の研究も、先人の論文を基に組み立てるんだ。何も無いところからいきなり創造的なアイデアが出るわけじゃない。
  - 機械を分解するのが好きな人: 機械の中の基盤からレアメタルがとれるそう。廃棄物の回収業者や金属廃棄物処理業者と仕事を分担することができるかもしれない。
  - 自分の経験を他人に伝えるのが好きな人: 旅でも食レポでも、勉強のことも趣味のことも、シナリオを書いて、YouTubeに挙げておくとフォロワーが増えるかもしれない。
  - デザインに興味がある人: さまざまな障害者の実態を知る福祉関係者が、特定のマイノリティのためのデザインやマイノリティの不利益にならないようなデザインを考案する。バリアフリー、ユニバーサルデザイン、インクルーシブデザインなどのジャンル。
  - ある領域の勉強ができない子ども: 学習アプリを作るために、どこが理解できないか、どうすれば理解できるかなどをシステムエンジニアに伝えて、学習プログラムに反映させる。
- 自分一人で考えてもいい考えが浮かばないし、パートナーとなる人も知らない。だけど、考え続けよう。そして必要な勉強をしてごらん。そのうち何かが生まれてくる。

## 5. 自分の価値を創り出す

# 子どもたちの未来と大人が提供できる教育

100年前のケインズの予言:100年後には、経済規模が大きくなって、1日に3時間も働けば生活に必要なものを手に入れることができるだろう。人々は生活の目標を失ってしまうかもしれない。

結果:GDPや消費支出を見る限りケインズの予言の前半は当たったようだが、生活水準も上がったので、1日8時間働いても裕福な生活ではない。その上、子どもたちの時代は次のように予言されている。

➤ **子どもたちの半数は、今存在していない職業につく**

➤ **現在の仕事の半数は、将来自動化される**

将来:もしかしたら所得を得るための仕事がないかもしれないし、あったとしても報酬は低いかもしれない。今存在していない職業に向けた準備などできない。どうする？

対策:一般的に言えること (全員に提供するメニュー、子どもの特性を見ながら重点をシフト)

- ・時代や身分によって教養とされる学問は変わってきた。漢詩文や和歌、歴史、論語、仏教、儒教、算術、手紙文など。いつの時代も多くの人が学ぶことが当時の教養になった。だから現代で言うと、**義務教育の教科が教養**ということになる。就職試験にもよく出題されるから大切。
- ・機械化できない職業-対人コミュニケーションが必要な職業、教師データとなるような専門技術、スポーツ選手(その競技が続く限り)…。**どの職業も、「読む書く計算する」基本的な能力は大切。**
- ・**時代のニーズを判断できる知性と感性は大切**

5. 自分の価値を創り出す

# 公教育が担えない教育の課題

1. 不登校児童30万人 自立する力、生きる力をつけるには？
2. 突出した能力をもつ子供への教育 天才の一部は障害者
3. オタクが世界を救う
4. 偉大なる凡人が世界を支える
5. 自分の価値の創造
- 6. 学校を核にした地域との協働**
7. 第一次産業から第三次産業へのシフトへの対応

# 学校と地域の協働

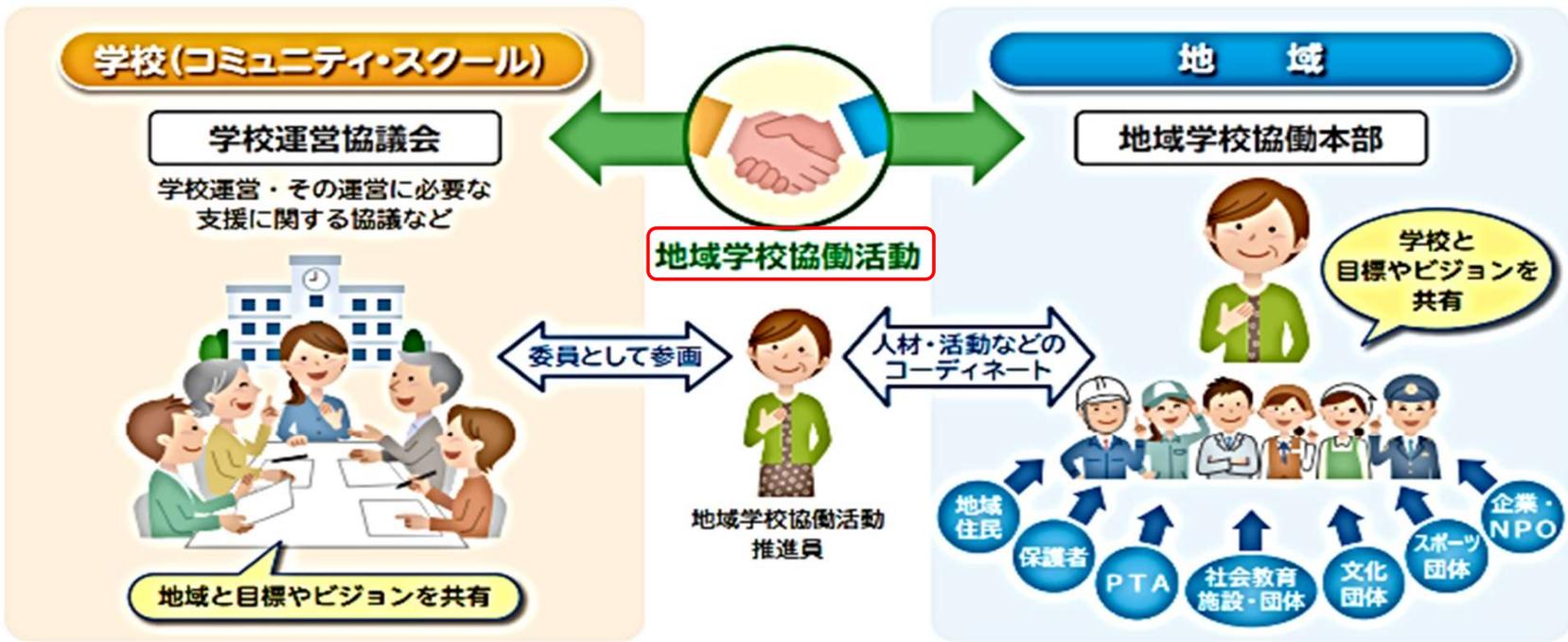
## コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一つの取組として

**官民連携** (Public Private Partnership)は、公共施設の建設・運営を官民が連携して行うこと。

**官民協働、官民共創**は、様々な社会課題を解決するために官民が協力したり、新しい価値をつくる作業。

**新しい公共**は狭義には公共サービスを民が担うとの意味もある

**官の利点**：偏狭な宗教教育の排除、利己的な人生観の修正



### 地域学校協働活動とは

地域学校協働活動とは、地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

次の時代を担う子供たちに対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、学校と地域が連携・協働します。

地域学校協働活動は、社会教育法第5条第2項により、学校と協働して行う以下の活動と規定されています。

- 学校の授業終了後又は休業日において学校、社会教育施設等で行う学習、その他の活動
- ボランティア活動、社会奉仕体験活動、自然体験活動、その他の体験活動
- 社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用して学校、社会教育施設等で行う教育活動、その他の活動

### 6. 学校と地域との協働

# 地域学校協働活動

## 学びによるまちづくり・ 地域課題解決型学習・郷土学習

- 地域資源を理解し、その魅力を伝えたり、地域活性化のための方策を考え、実行する学習活動
- 「ふるさと」について地域住民から学び、自ら地域について調べたり発表したりする学習活動
- 地域の産業や商店街の職場体験学習、郷土の伝統・文化芸術学習 など



## 放課後子供教室

- 地域住民の参画を得て、放課後等に全ての児童を対象として行う、学習や体験・交流といった多様な活動



## 地域未来塾

- 全ての児童生徒を対象に、教員OBや大学生などの地域住民の協力によって行う学習支援



## 家庭教育支援活動

- 寄り添いが必要な子供、不登校傾向のある子供等への対応について、保護者が学び合う機会づくり など



## 学校に対する多様な協力活動

- 登下校の見守り、花壇や通学路等の学校周辺環境の整備、子供たちへの本の読み聞かせ、授業の補助や部活動の支援、企業等による出前授業等の教育プログラムの提供 など



## 地域の行事、イベント、お祭り、ボランティア活動等への参画

- 地域イベントにおけるボランティア体験学習、伝統行事やお祭りでの伝統文化・芸能の発表や楽器の演奏、地域の防災訓練への参画 など



# 現行の学習指導要領で重点化された領域

## 新たに取り組むこと、これからも重視することは？

下記のほかに、「体験活動」「キャリア教育」「起業に関する教育」「金融教育」「防災・安全教育」「国土に関する教育」なども充実します。

### プログラミング教育

プログラムによって問題を解決する活動を通して、生活や社会における課題を解決する力を育みます。

### 外国語教育

「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の力を総合的に育みます。

### 道徳教育

自分ごととして「考え、議論する」授業などを通じて道徳性を育みます。

### 言語能力の育成

国語を要として全ての教科等で子供たちの言葉の力を育みます。

### 理数教育

観察、実験などによる科学的に探究する学習活動や、データを分析し、課題を解決するための統計教育を充実します。

### 伝統や文化に関する教育

我が国や郷土が育んできた日本の伝統や文化を学びます。

### 主権者教育

社会の中で自立し、他者と連携・協働して社会に参画する力を育みます。

### 消費者教育

自立した消費者を育むため、売買契約の仕組みや消費者の基本的な権利と責任などについて学習します。

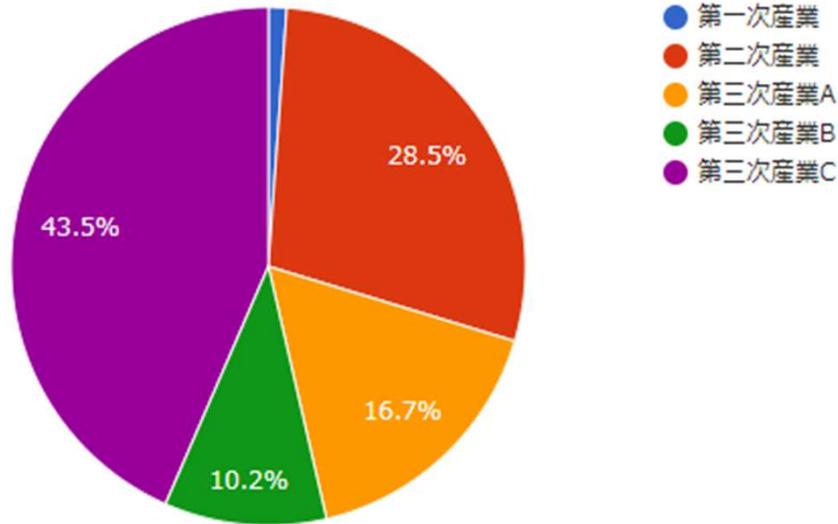
### 特別支援教育

全ての学校で障害に応じた指導を行い、一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばします。

# 公教育が担えない教育の課題

1. 不登校児童30万人 自立する力、生きる力をつけるには？
2. 突出した能力をもつ子供への教育 天才の一部は障害者
3. オタクが世界を救う
4. 偉大なる凡人が世界を支える
5. 自分の価値の創造
6. 学校を核にした地域との協働
7. **第一次産業から第三次産業へのシフトへの対応**

## 日本の産業別GDP構成比



GDP構成比	第一次産業(農林水産): 1.1%
	第二次産業(鉱業、製造、建設、電力): 28.5%
	第三次産業A(卸売、小売、運輸): 16.7%
	第三次産業B(飲食、宿泊): 10.2%
	第三次産業C(情報通信、金融、不動産、その他サービス): 43.5%
主要産業	自動車、電子機器、工作機械、鉄鋼、非鉄金属、船舶、化学品、繊維製品

出典: 国連(データ対象: 2018)、CIA - The World Factbook

現代社会は、生活の基盤である第一次産業や第二次産業の**労働の経費を抑えて**、流通のマネージメントを行う業種に利益が蓄積するようになっている。

福祉や流通の現場は労働の単価が低いので人手不足。本来不足している職種の賃金が上がるはずなのにそうならない。

現代社会は、福祉の対象者にはやさしく、それを支える中間層には厳しい。働く人間に相応の報酬がないと社会はもたない。そんな生きにくい世の中でも働かないといけない。起業するにしても就職するにしても。それでは、**どんな勉強をしたらいい？**

(再掲)

時代や身分によって教養とされる学問は変わってきた。しかし、いつの時代も多くの人が学ぶことが当時の教養になった。

だから現代で言うと、義務教育の教科が教養ということになる。就職試験にもよく出題されるから大切。

時代のニーズを判断できる知性と感性も大切。

7. 第一次産業から第三次産業へ

# まとめ

- 公教育が担えない教育の課題をNPOが補完（官民パートナーシップ）
- NPOは不登校児童に対する育成指針を公表すべき
- 育成指針には、一人ひとりの情緒の安定と発達の援助を期すことを謳う
- さまざまな特性をもつ不登校児童に対して公平に対処する
- 労働が軽視されがちな時代に、自立のために学びに向かう力の涵養を目指す
- 子どもたちの中に、大人をしのぐ才能を見出すよう努める